



2017 年度第 4 回千葉大学アカデミック・リンク・セミナー /ALPS セミナー 平成 29 年度千葉大学全学 FD 研修会

内部質保証に資する IR の機能・動向・実践事例

【日時】 2018 年 1 月 30 日 (火) 14:00 ~ 16:00

【場所】 千葉大学アカデミック・リンク・センター | 棟 1 階コンテンツスタジオ「ひかり」

【講師】 ◆報告 1 「米国高等教育における IR の展開」

森 利枝氏 (大学改革支援・学位授与機構 教授)

◆報告 2 「大規模私立大学における IR の推進ー教職協働による取り組みー」

姉川恭子氏 (早稲田大学大学総合研究センター 助教)

◆報告 3 「国立大学における教育に関する IR の実践ー千葉大学の事例を中心にー」

岡田聡志氏 (千葉大学高等教育研究機構 特任准教授)

【概要】

2018 年度から開始される第 3 サイクルの機関別認証評価では、いずれの認証評価機関においても今まで以上に「内部質保証」の観点が重視されることになっています。現在、各機関が「内部質保証」として、自らの教育研究の質を維持・向上させるため有効性が焦点になりつつあります。その一方で、専門分野別の大学教育の質保証への対応を含め、内部質保証に係る作業負担やコストを、それぞれの大学の中でいかに軽減していくかという点も重要な課題となっています。このような効率的かつ効果的な内部質保証の実質化という課題に対して、各大学で内部データを蓄積・分析し、改善を提案する Institutional Research (IR) はどのように機能し、貢献し得るのでしょうか。

今回のセミナーでは、この点について、早くから「機能としての IR」や「ネットワーク型の IR」に注目されてきた大学改革支援・学位授与機構の森利枝教授と、大規模私立大学の中で分散型の IR に取り組まれている早稲田大学から姉川恭子助教をお招きし、海外の動向を含めた IR のあり方や具体的取り組み例をご報告いただきます。

また、千葉大学の教育 IR の実践についても報告を行い、内部質保証に資する IR のあり様について検討する機会とします。

【申込方法】 氏名・職名・連絡先 (E-mail)・所属機関の名称と所在地 (県名まで) をご記入の上、件名を「セミナー申込み」とし、1 月 29 日 (月) までにメールで alc-info@chiba-u.jp までお送りください。

【主催】 ◆千葉大学アカデミック・リンク・センター

(教育関係共同利用拠点「教育・学修支援専門職を養成する実践的 SD プログラムの開発・運営拠点」)

◆千葉大学高等教育研究機構 FD 推進部門